

久保・長江中学校区に係る小中一貫教育校開校準備委員会（第9回）議事録

- 1 日 時 令和6年6月24日（金） 19:00～20:42
- 2 場 所 尾道市役所 2階 多目的スペース2
- 3 出席委員 久保小学校長、長江小学校長、土堂小学校長、山波小学校長
久保中学校長、長江中学校長
久保小学校育友会長、長江小学校育友会長代理、土堂小学校育友会長
山波小学校育友会長、久保中学校PTA会長、長江中学校育友会長
中濱教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長
安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
事務局10人

4 進 行

担 当	内 容
<p>小柳委員長</p> <p>総務等検討部 会長（土堂小 小学校長）</p>	<p>（19:00 開会）</p> <p>1. 進捗状況の報告</p> <p>尾道みなと中学校区にかかる小中一貫教育校第9回開校準備委員会を 始めたいと思う。それでは、レジメの縦1委員長から第8回開校準備委 員会以降の進捗状況の報告を行う。開校資料1現在の進捗状況である。 前回から追加しているところは太字で追加をしている。まだ途中のもの もたくさんあるので、今後も進捗状況を確認しながら進めていきたいと 思う。開校準備委員会日よりNo.9を令和6年6月3日に発行した。保 護者の方、地域の方、議員の方、ホームページへの掲載ということで、 いつもと同じような配布をした。開校準備委員会日よりの中での報告事項、 校章・校歌のところで、校歌の作曲は小学校は、〇〇〇〇氏に依頼をし ていたが、前回の開校準備委員会以降に辞退する旨申し出があった。そ の後、5月30日に〇〇〇〇氏がお亡くなりになられた。ご冥福をお祈 りしたい。中学校の作曲者〇〇〇〇氏に、小学校の校歌の作曲も現在依 頼をしている。表記が前回の開校準備委員会に報告した中身と異なっ ているので、ご理解いただきたい。</p> <p>2. 部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会</p> <p>第8回開校準備委員会から本日までの間、部会は開催していない。今 後は新校舎設計業務、令和7年度・8年度の各校舎レイアウト、そして、 閉校記念事業等について協議を行う予定である。次回7月16日（火） 19時から土堂小学校にて開催を予定している。詳細については事務局 より補足を行う。</p>

<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>現在の進捗状況ということで、補足の説明をする。総務等検討部会で今大きく審議、協議していきたいと思っていることは、新校舎の設計。この開校準備委員会で、協議の時間を設けている。そこで、詳しい内容を説明させていただきたいと思う。2つ目、令和7年度から8年度の校舎のレイアウトについて、現在、教育委員会と関係校長先生とレイアウト（案）について、一生懸命考えている。いろんな課題を出し合って、だいぶ固まりつつあると感じている。次回、総務等検討部会7月16日になるが、その時にまず部会においてレイアウト（案）を提示させていただきたいと考えている。そこでの確認を受けた後、開校準備委員会での報告となろうかと思う。新校舎については、この後いろいろ協議事項、依頼事項もあるのでそこで詳しく触れさせていただく。</p>
<p>生徒指導等検討部会長（長江小学校長）</p>	<p>○生徒指導等検討部会</p> <p>第6回生徒指導等検討部会を6月17日（月）19時から久保中学校で行った。3点について検討を行った。まず1点目の学校規定品については、尾道みなと小学校・中学校の体操服の製造を依頼する業者について6月4日にプレゼンテーションを行った結果、株式会社明石スクールユニフォームカンパニーに決定したことを皆さんにお伝えした。今後は学校がデザイン等について、明石スクールユニフォームカンパニーと協議をしていく。中学校の制服については、スーツスタイルとすることが第8回開校準備委員会で既に議決されている。中に着るものについては、前回の部会での意見を踏まえて検討した結果、「年間を通してカットシャツを着用する、長袖か半袖はどちらでもよい。ただし、カットシャツは学校規定品としない」また、「ネクタイ・リボンについては学校規定品とし、その脱着の詳細については生徒指導規程で定める」ことを提案し、了承いただいた。その他の規定品については、これまでの提案を確認するとともに、新たに「防寒着は、規定品とするのかどうかも含めて、時間もあるので来年の秋までに学校で提案する」こと、「通学カバンは、新たなものを作製するのではなく、現在長江中で使用しているものを使用する」ことを提案し、了承いただいた。小学校の制服については、キュロットタイプのスカートの試作品が完成してから再提案することとしている。その他の規定品については、これまでの提案を確認し、あわせてこの方向で進めることを了承いただいた。2点目の通学支援についてであるが、まずは路線バスを活用した通学支援については、久保小学校・長江小学校・土堂小学校の3小において、育友会から選出されている生徒指導等検討部会員から2名程度、学校から1名、教育委員会事務局で構成される小部会を設置して詳細を協議する旨を提案し了承された。小</p>

<p>教育課程等検討部会長（山波小学校長）</p>	<p>部会は7月中に第1回の開催を予定している。また中学校における自転車通学の在り方については、自転車通学を許可する要件として、学校からは半径2km以上、育友会からは、道のり3km以上とする旨の提案がなされており、学校で持ち帰って検討し、再提案を行う。3点目の生徒指導規程等については、小学校・中学校それぞれ検討しているので、今後示せる段階になれば部会でも報告する。次回の生徒指導等検討部会の日程については、検討中である。</p> <p>○教育課程等検討部会</p> <p>開校資料1横版の方で私どもが担当している、12番（令和6年度に行う児童生徒交流の内容と時期）と15番（小中一貫教育校の教育研究主題）について、まだ未了の状態になっているがそちらの方は、同時進行で進んでいるのでこれからの報告でお伝えをさせていただく。教育課程等検討部会の進捗について、大きく2点報告する。1点目は、本年度予定している児童交流の第1回目を行った。対象となった学年は3校の第3学年で6月12日（水）に長江小学校で交流を行った。参加した職員から「最初は学校ごとに集まっていた子供たちも、徐々に打ち解けあい活動する中で、新たな仲間意識が芽生えると同時にこのような機会では他校の子供たちと交流しているところを見ると、良い刺激になっているのではないか。」という報告を受けている。今回の交流の取組を通して、バスを手配するなどこの交流に関する手続きのルーティンの方が確立してきた。次回は2学期になるが、9月に2年生と5年生が実施予定となっている。2点目は、教育課程等検討部会を6月11日（火）に山波小学校で行った。この中で令和7年度の教育計画の作成や総合的な学習の時間の学習内容、教育課程について話し合いを持った。教育計画は、学校独自でそれぞれ4月の最初にはこういうふうに計画して始めますという一冊の冊子のことで役割分担を既に始めている。また総合的な学習については、現在の尾道市の学びのスローガンである「グローバル」「ローカル」「尾道らしさ」このスローガンの実現が小中一貫の教育の中で学べるように、小学校では小学校の学習プログラム、どのように中学校につなげていくことが、この理念を実現になるかということで検討に取り掛かっている。次回、7月16日（火）にそれぞれ学校の方から出てきている教育計画、そして総合的な学習の取組の骨子を話し合う予定である。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>3. 質問事項の回答について</p> <p>(1)「小学生が参加する地域行事について、統合校ではどのように整理したのか」について、私の方が当時美木原小学校や因島南小学校で統合</p>

に携わっていた元校長先生に話を伺った。美木原小学校では、閉校記念実行委員会の会合の中で話し合われたということであった。子供会と社協、区長会が話を整理してということをお聞きしたが、学校も間に入って調整をしていったそうである。ここは結構エリアが広いので、地域ごとでの行事の整理ということになる。この中で総合的な学習の時間の中でどのように地域を学習素材に入れていくかということも話し合われたようで、市教委の方に3年間バスの補助をお願いして、例えば学校があるのが木頃だが、原田へ学習に行くと言った時にバスの補助を3年間出した経緯がある。それから、因島南小学校であるが、各地域の児童が参加していた行事はそのままその地域に継承するということになったそうである。話し合いは、公民館・区長会・子供会が中心に調整をして学校も関わっていた行事があったという関係で参画して調整したそうである。ここではちょっと具体的な話になるが、例えば田熊地域であるが伝統的に8月になると灯籠流しの灯籠作り、冬の上旬縄作り、親子料理教室や、よくマスコミにも取り上げられたジャンボ巻き寿司、敬老会の行事ですべて田熊地域で継承して行うということになった。やり方だが、公民館から地域行事の案内文が学校に送付をされ学校は、対象地域の児童に案内を配布したそうである。参加の申込みは、学校に提出せず公民館や地域の役員などにしたそうである。行事は地域の枠の中で考えたので、例えば、田熊地域の行事には田熊地域の児童のみが参加して、土生・三庄の児童は参加しないというようなルールも各地域で共通に決めたそうである。今2つの行事を紹介したが、基本的には地域の中の社協や区長会・子供会で学校が間に入って地域ごとに調整をしているようである。

事務局（宮崎
学校経営企画
課企画振興係
長）

（2）「市教委主催閉校式での来賓はどのようにリストアップし案内を出すのか」について、平成29年4月に美木原小学校へ統合した北部4小、木頃小学校・木ノ庄西小学校・木ノ庄東小学校・原田小学校の閉校式、閉校記念事業の来賓受付名簿を参考資料として付けた。木頃小学校でいうと上の対象というところの欄に、4校と書かれているものは、小学校4校に共通して閉校式に参加した方になっている。地元と書かれている人は各小学校が独自に選定した方という形になっている。主にPTA、学校支援者、歴代の校長と市の関係者という形になっているが人数は、小学校ごとに変わっている。人数が多い学校もあれば少ない学校もある。地元関係者として招待する人については、今後、教育委員会が学校や閉校記念事業実行委員会と連携し、名簿を作成していきたいと考えている。名簿に記載された来賓者については、教育委員会から案内を送ることになる。

<p>質問者 A</p>	<p>閉校記念事業の名簿についてだが、ここに書いてある方以外は基本的にはもう来られてないということか。</p>
<p>事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）</p>	<p>来賓者の招待した方は、この人数になる。閉校式の名簿なので閉校事業の来賓招待者とは、必ずしも一致はしない。閉校式の後、閉校記念事業をやるので同じ方が招待客として来賓者になっている。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>保護者の方は、参加可能か。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>来賓ですので、一般参加の方はこれ以外にたくさんいらっしゃいますので、小規模の学校でも保護者の方や卒業生の方もたくさん来られてどこの学校もかなりの人数だった記憶がある。来賓ですから、一般参加の人はちょっと予測もつかないが、体育館の椅子いっぱいになると思う。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>来賓の皆様には、教育委員会から案内が出るということでよいか。これ以外に例えば学校や育友会から案内は出されているのか。</p>
<p>事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）</p>	<p>人数が多い学校、少ない学校があるので、必要な方がいれば協議してその方を呼ぶような形になる。地元と書いているのが各学校の招待者なので、こちらの方また学校、実行委員会と協議して招待者は考えていきたい。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>文書の出どころは、一か所にした方がよいと思う。教育委員会で集約して一括にして出すのがベストだと思う。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>対象が4校になっているのは、教育委員会が呼ぶという方々なのか。地元になっているのは育友会がお願いして来賓者になっているのか。4校と書かれているところは、教育委員会が絶対に呼ぶということか。</p>
<p>事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）</p>	<p>4校とあるのも地元とあるのも教育委員会から招待をする。4校と書かれている方は、市議会議長であったり、東部教育事務所の所長であったり、美木中学校の校長であったり、4校に共通している方になる。この度の2中3小の閉校式は詰まった時間設定をしてあるので、4校と書かれている招待者は続けて他の閉校式へ参加するようになり、地元と書かれている方は、閉校記念事業に引き続き参加する形になるので、4校</p>

質問者B	と書かれている方は時間的な制約があるよということで示している。 教育委員会から選ばれた来賓ということか。
事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）	共通で呼ぶ方は、前回がこうだったということである。来賓として誰を呼ぶかというのはこれから協議する。学校ごとに2中3小の名簿を今後作成する。
質問者B	来年の閉校行事の来賓者のリストはこれから作られるのか。いつ教えていただけるのか。呼ばれる方を教えていただいて、そこから作っていくのでマストで来られる方を早めに教えてもらいたい。
事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）	分かった。
質問者C	教育委員会から「案内は一括して出してよい。」という話だったが式典は出していただけると。閉校記念事業の案内も一緒に出していただけるのか。
小柳委員長	来賓の方については、掛け持ちで行く人は閉校記念事業が出られないと思う。地元の方から推薦されてくる方は基本的にも同じ日に開催するのであればセットですので、案内は一緒に出させていただけいてもいい。来賓については教育委員会に対応する。一般の保護者の方とか卒業生の方については実行委員会の方から出していただいたり、どこから出すのになるか、ちょっと分からないが、PTAが出すのか社協が出すのか閉校記念実行委員会から出すのもあるのかもしれない。
質問者C	土堂小学校の地域として関係していて、懇親会を別の日にする予定です。来賓者がかぶってしまうと思う。日にちが違うからそれは実行委員会から出した方がいいのか。
小柳委員長	私たちの場合は、ターゲットとしているのは市教委主催の閉校式でそれに付随する閉校記念事業は案内をする。別の日に行う事業については、単純に閉校記念事業実行委員会が主催になると思いますので、そちらで

	対応した方がいいと思う。
質問者C	原田小学校の閉校記念、目次を見たら来賓挨拶とあるが、来賓のどの方がされるのか。閉校記念事業挨拶は誰にしてもらうかと関係してくる。
事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）	閉校式の来賓挨拶は、原田小学校等の4校の閉校式の際は市議会議長がされている。
質問者B	閉校式の次第も教育委員会が作られるのか。
小柳委員長	閉校式は、市教委が主催なので次第やパンフレットを作成する。閉校記念事業は、実行委員会が主催になるため教育委員会は来賓になる。
質問者B	そのあとの記念碑の除幕式の来賓は、こちらでやるのか。
小柳委員長	今回次々やるので、一番最初にやった学校の除幕、二番目にやった学校の除幕式は出れないと思う。市教委側が呼んでいる共通の来賓は同時に動いていくため、除幕式には出席できない。地元の方で除幕式を行っていただかないといけない。閉校記念事業の方が主催されて司会もされる。例えば、お披露目は市長とか議長とか育友会PTA会長さんとかそういう方が引っ張ってきたようなイメージがあるけれど、今回はそういう絵にはならないかなと思っている。一番最後の方は大丈夫かも知れない。
質問者B	期待しない方がいい。勝手にやった方がよいのか。
小柳委員長	やりたい気持ちはある。実質難しいかもしれない。タイムスケジュールを詰めていかなければならない。また計画を立てさせてもらう。
質問者B	次第も早く分かれば、教えていただければ、予定が組みやすい。
小柳委員長	来賓のお便りの出し方とかは、まとめてもらって、事務局から情報提供できるようにしてほしい。
	(3) 閉校記念事業における旧校舎内の見学について

事務局（石川庶務課管理係長）	<p>今の見解についてご説明をさせていただく。ここまで多少キーワード的に旧校舎の見学を閉校記念事業等で行いたいと、要望がある中で具体的な考え方を示さずここまで来て、もう少し早く協議すればよかったなと思っている。旧校舎の見学については、耐震性がない建物だというようなことがある。本来は実施しないことが好ましいというような考え方も生じている中で、教育委員会としても地元の方からいろんな情報等いただいているので、当然必要最低限の中で実施していきたいというふうに考えている。どのような制限があるのかというようなお問い合わせ等もいただいたことがあるが、見学する時間にある程度限りを持ちながら実行委員会の会長さん等と協議を行いながら決めていきたいと考えている。そういうことでいろんな計画を立てられていると思うが、記念事業を開催している時間帯全てで見学するというのではなくて、時間を限って行わせていただきたいと考えている。この点のご理解をしていただき、お願いをまずさせていただきたい。この校舎の見学について、いつでもどこでもではいけない。記念事業の時の一度きりということにさせていただいて、それ以外での違うタイミングでの見学は行えないということで、この点についても理解をしていただきたいと思う。10月に閉校記念を行う地区も聞いている。やはり10月にもし見学会を行うのであれば3月閉校式後にまた見せてください、というのは少し難しいと考えている。どちらのタイミングでもいいが、基本的には記念事業の時にさせていただいて各地区やはり1回だけと、ご理解した上で進めていただきたいと思う。そして、この見学に関する協議というところ参加人数や見る範囲等々我々が勝手に決めても皆さんの意向と合わない面もあるかと思っているので、そういうところについて記念事業のスケジュールが概ね決まって、そして参加者がどれぐらいいるのかとみえた段階で、各実行委員会の会長さんと相談して事業概要を決めていきたい。事業内容やスケジュールが決まった段階で窓口は学校経営企画課で行っているので、連絡していただいたら庶務課も入って具体的にどのような形が一番いいのかどこが最低限なのかっていうところを一緒に考えさせていただきたいと思う。記念事業の一日ずっとというようなことは難しいということをご理解いただきたい。現在の経過についてまずはお話しさせていただき、記念事業の詳細が決まった時点で協議をさせていただきたいという見解である。</p>
質問者B	<p>一回切りで校舎の見学が出来るということですが、どうぞと言われても掃除してませんよね。掃除とかはしていただけるのか我々がするのか教えてください。</p>

事務局（石川庶務課管理係長）	細かいことは協議させていただこうと思っていた。我々も「掃除します。」と言えればいいが、なかなかそういった体制は整わない。物品の片づけ等我々も見学できる体制を作っていくといけないので、いくら校舎に入っても整理をする機会はあると思うが、さすがに全部雑巾がけをしたりとか掃除の程度はあるが、ピカピカに行くというわけにはいかないと思っている。そういう面で当然、物品を片付けてこれぐらいは整理しましたよ、とお伝えしながら当日への掃除の体制どんな形で清掃等を行っていくのかっていうのはやはり、実行委員会の方と協議していきたい。
質問者B	入る時は、上履きか土足か。掃除の具合によると思うが。
事務局（石川庶務課管理係長）	必ず上履きとは考えていない。土足を想定している。履き替えると時間もかかるし原則、土足でと思っている。
質問者B	鑑識の人が履くものを用意したらどうか。
事務局（石川庶務課管理係長）	相談させていただくが、1つのアイデアとして伺っておく。
質問者C	厳しいことを言うようだが、校舎は危ないからってということで仮校舎に上がった。入りたいので入らせてくださいという経緯があるにせよ、許可を出されたのは教育委員会だと思う。もし、何かあった場合の最終的な責任は実行委員会ではなく、教育委員会が持っていただけてよろしいか。
事務局（石川庶務課管理係長）	確かに誰が許可したのか、再度確認して正式な回答させていただきたいと思う。今、私が協議せずに答えられないかなと思っている。その辺りの考え方は整理させてほしい。
質問者C	とても大事な問題であると思う。何もなければいいが、何かあった時に実行委員会が責任をとることのないようにしてほしいと思っている。
小柳委員長	極論は、入るべきではない。入るのだったら、時間制限、人数制限、地

	<p>域の実行委員の方と折り合いをつける必要がある。責任論をいうと難しいことになると思う。お互いが理解したうえで条件を飲んで調整させていただきたい。</p>
<p>質問者C</p>	<p>個人的には、許可してほしくなかった。そういう人もいると思う。よく考えていただきたい。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>4. 確認および協議事項について</p> <p>(1) 施設整備について</p> <p>総務等検討部会の報告でも申し上げたが、新校舎の設計について今、色々と調整を進めている。そして5月24日開校準備委員会において、皆様から一度ご意見いただいてそれに対して、修正を練っている。まずは、前回の開校準備委員会で報告にあった意見に対する回答を、我々の考え方を一度読み合わせながら回答させていただく。ある程度その意見に答えられたところについては、修正した案の資料を付けている。現在の校舎の設計の状況、修正案について説明をさせていただいて、今後の進め方を共有していきたいと考えている。まずは前回の開校準備委員会で報告にあった意見に対する回答ということで資料3ページ開校資料5-1を見ながら少し振り返って説明をさせていただく。この質問については、開校準備委員会だよりにある程度集約させていただいた形式を持って回答させていただいているのでその点ご了承ください。</p> <p>○質問1 特別支援学級に対する配慮について</p> <p>(ア) 特別支援教室が1階、普通教室が2階で離れているため交流ができないのではないか。(イ) クールダウンスペース等児童生徒が過ごしやすい設備を整えてほしい。(ウ) 特別支援学級の数が中学校4学級と比較して、小学校2学級は少ないのではないか、というようなご質問をいただいた。</p> <p>〈質問1に対する回答〉</p> <p>(ア) 特別支援教室、普通教室だが、レイアウト等の見直しにより現在のところは1階2階とも特別支援教室と普通教室を配置する案になっている。</p> <p>(イ) 特別支援教室の面積を64㎡が確保できるように設計を行っている。その場合にはパーテーション等で仕切ったうえでクールダウンのスペースが確保できるよう配慮している。</p> <p>(ウ) 令和6年5月1日の調査を基に特別支援教室を小学校は5教室、中学校は3教室確保している。特別支援教室のゾーンに対しても対応で</p>

きるようにしている。

○質問2 プールについて

(ア) 屋上に設置するため、安全対策、盗撮対策、熱中症対策などを行ってほしい。(イ) 屋上に設置するため、現在よりも気温が高くなることで使用できない日が増えるのではないか。(ウ) 建設費、維持管理費等を考慮すれば、別の場所を活用すればいいのではないかと意見をいただいている。

〈質問2に対する回答〉

(ア) 現在のところ落下防止対策について、フェンスの設置、盗撮等の関係もある目隠し等フェンスの設置も検討している。プールサイドへの遮熱素材等の利用、熱中症対策温度が上がらない対策、日除けを作るということもある。盗撮等も小高い北高側の坂道、高いところもあるのでどこまで目隠しができるのかまだ検討中である。

(イ) 屋上なので地上よりも大変暑くなり、使用できない日が増えるのではないかというご心配だと思う。プールの使用の可否については、気温と水温によるが、日陰での気温と我々把握しておりますが、やはり最近の猛暑によって気温が上がっていくというところは避けて通れない。遮熱塗料、日除け等で屋上の日陰の温度が上がらないように対策はしていくが、限界もある。地上設置と同等の使用できない日というのは生じる見込みであるが、対策はしていく。

(ウ) 将来的なプール設置のあり方は、今後の検討材料となる。現時点では自校へプール設置をしていく方針なので、尾道みなと小学校は屋上へ設置する考えである。

○質問3 放課後児童クラブについて

(ア) 令和9年度はどこに放課後児童クラブを設置するのか。(イ) 放課後児童クラブはイエローゾーン（土砂災害警戒区域）を外して設置してほしい。

〈質問3に対する回答〉

(ア) 現在の長江中学校既存校舎と特別教室棟の1階を予定している。令和7年度・8年度での設置場所と同じ場所を考えている。ただし、今後の学級数の減少の見込みに伴い新校舎へ設置できる状況が生じれば新校舎1階へ移転する予定である。令和9年度では入らないという算定をしているので、既存校舎の位置ということでご理解いただきたい。

(イ) 特別教室棟の現在の技術室がイエローゾーンとなるが、その教室は使用しない見込みである。区域指定されていない現在の美術室と準備

室の広さをもって改修を行ったうえで、放課後児童クラブを運用する。

○質問4 学級数について

(ア) 1学年複数学級が適正規模というコンセプトであった。今後、引越しや学校選択制により児童生徒数が増加した場合、理想の複数学級で学習ができるよう配慮してほしい。

〈質問4に対する回答〉

(ア) 令和6年5月1日調査をもとに必要諸室の見直しを行っており今後、児童生徒数が増加して1学年2学級となっても普通教室を確保できるような配慮をしている。以上が小学校に対する回答。

次に、中学校に対する回答はここが大きなポイントであった。

○質問1 全学年の普通教室が同一フロアであることについて

(ア) 同一フロアに全学年配置はどうなのか。(イ) 2年生が翌年に控える受験への心構えができるので同一フロアがよい。(ウ) トイレは学年ごとに同一フロアにしてほしい。

〈質問1に対する回答〉

(ア) (イ) 教育委員会、学校長、教職員の意見を汲む中で中学校の普通教室の位置の継続協議を行っている。7月の総務等検討部会で見解をまとめ説明させていただく。

(ウ) 現在の検討では、普通教室を同一フロアにする場合は、トイレを3箇所と考えている。

○質問2 図書室について

(ア) 図書室や図書スペースがオープンなので、落ち着いて本を読めないような気がする。

〈質問2に対する回答〉

(ア) 新しい学習に対する設備の考えでは、図書室を中心とした学習環境の整備が1つの例として文科省の報告にあった。設計に当たっては、図書のスペースは仕切り等で分離された空間にするなど、少し落ち着いて本が読めるような配置を行っていく。こちらについても部屋のレイアウトが決まった後でも詳細を詰めていく。

○保護者の意見を踏まえて学校教職員からの意見で配慮を行った項目

同じような意見が続いている。小学校では、普通教室と特別支援教室は同じ1階の方がよい。2階も正直出てくるが、配置できるという話をさっき言っていた。そして、やはり特別支援教室は、トイレの数

は足りるのか。トイレの数も利用人数というものを計算して十分なトイレの基数を整備する。収納ロッカーが従来のもよりも大きくしてほしい。現状収納できないものがあるので大きなものを置くことで設計を進めている。校舎は12学級入る規模がいいという意見ですが、解決している。そして、普通教室が3階に3教室となっていたが、高学年が2学級ずつで同学年が同一フロアにあった方がいい、奇数だと5年生が2つに分かれると事情が起きるとこれについても少しレイアウトを調整して解決をしていく。小学校・中学校、共通であるが、特別支援学級が今後増加するために教室の確保が必要ということで令和6年5月1日調査により3学級整備とし、ただし5学級入れるようにする。中学校では、全学年が同一フロア、合わせて調理室と被服室がいるのではないかと、理科室第1・第2がいるのではないかと、現在そこについては見解をまとめながら7月の総務等検討部会にと思っているので、少しこの部分だけ宿題が残っているということでまずは回答させていただいた。

○尾道みなと小学校新校舎設計（配置図・平面図）

現時点で整理したそれぞれの図面を7ページ以降に付けている。本日のところであるが、今日出席の会長さんはじめ出席者の方々にご説明をさせていただく。今後は修正がある程度できていると思っている部分もある。また改めて、この図面を見て保護者さんの意見を、コドモンを通じて聞く場面を作ろうと考えている。意見交換しながら今日この場で決めていきたいと思うので、後でご相談させてほしい。まずは現状小学校と中学校の設計図面について修正点や特徴をお話して、現在どのような図面ができているかお伝えする。

まずクラスルームの数を確認していきたいと思う。1階に図面の右側にクラスルームが3部屋セットしてある。そして2階右側にクラスルーム6個、廊下を挟んでクラスルーム7個目があって、10クラスをセットさせていただいた。

特別支援教室については、まず3つを配置するにあたり、やはり交流が必要であろうというようなご意見を踏まえながら、1階に2部屋、2階に1部屋設置をさせていただく。そして※印を2階は専科教室、1階はカウンセラー教室に付けさせていただいた。この部屋については、カウンセラーや専科教室として使っていくということは念頭にはあるが、万が一特別支援教室が5学級になった時にはこの※印を特別支援教室にまずは転用させていただいてスタートを切り学級数で少しずつ戻していきたいと思っている。ここについては数字が確定するまで見えませんので一応両にらみということで※印を付けさせていただいているとい

うことをご了承ください。

そして、複数学級の確保の考え方であるが、一応クラスルームとワーキングスペースがある部屋を数えてみたらということになるが、1階は3つで変わらないが、2階は右側の6つに加えて下側の3つもワーキングスペースを構えたようなレイアウトを設ける。最大値12学級になった場合には、ワーキングスペースのところが全てクラスルーム分へ、特別支援教室が1階で降りる状況になるので、その時にはカウンセラー室や※印は付けていませんが会議室を転用しながら5部屋は取れるというような考え方を持っている。そういう形で運用していくということで皆様のご意見の条件が発生した時は、対応できるように少し修正を行った。

レイアウトの小学校の特徴ということになっていますが、外観というものも設計開始となった。あくまで現時点での作成途中のパス図というようなものを付けさせていただいた。この後意見集約することになれば、カラーのデータ等をコドモンで送付し、皆さんには見ていただけることを考えながら資料を付けた。以上が小学校の今の状況の設計図面である。

○尾道みなと中学校新校舎設計（配置図・平面図）

次に、中学校は先ほどキーワードも出たが教室が同一フロアに全普通教室が並んでいるA案のレイアウトが9ページにある。普通教室を分けた方がいいのではないかとB案を11ページに付けさせていただいた。今回の皆様への説明そして意見の集約について、A案とB案をお配りさせていただいて意見集約をしていこうと思う。中学校については、部屋数は当初普通教室9、特別支援教室3ということで変わっていない。ポイントとしては10ページであるが、普通教室を同一フロアにするならトイレが各学年ごとに2階へ3箇所セットしたイメージで修正をした。B案は、普通教室を2階と3階へ分けて配置した。どちらかの案で結論を出し、最終的に意見等を集約していきたい。小学校・中学校の現在の図面について説明させていただいて、皆様からいただいた意見等を反映してお配りさせていただきたい。

○今後のスケジュール案

6月24日開校準備委員会で修正案の図面を配る。6月28日頃までにコドモンを通じて各育友会PTAから意見の集約を依頼していこうと考えている。前回の意見集約の時に全学校についてコドモンでの周知をご依頼させていただいた。その際には会長さんには色々ご協力ありがとうございます。その時の手法というものをある程度我々も受けている

	<p>こともある。ご無理を申し上げるがまた同じスタイルを取らせていただきたい。そしてまた配るデータ等は育友会・PTAに分かりやすくしてお届けする。届け出方法も前回会長さんとお話しさせていただいたので同様な形でデータを送付させていただいて意見集約の発信を各学校からコドモンを通じていくというような流れを考えている。そして、今後の流れであるが、少し期間は短い、1週間ぐらいで各学校の意見集約結果を教育委員会の方に送付していただきたい。そこで、我々が意見の方を読ませていただき、修正事項等も生じるかもしれない。そういう全体的な意見を踏まえて全図面の見直し等を行っていく。一応学校さんも含め意見集約を同じ時期にしたいと思っている。そこで全体の集約を7月16日の総務等検討部会で報告し、これでいきたいと案を提示させていただいて、部会の了承をいただき、7月19日の開校準備委員会で報告できたらと考えている。そういう形で今簡単な内容の説明と今後の会長さんを通じての意見集約について、協議事項として説明をさせていただいた。</p>
<p>質問者C</p>	<p>特別支援学級は、今だと小学校は3学級、中学校も3学級、令和9年度は、5学級になるかもしれない。では、中学校の特別支援学級はどうか。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>小学校は、就学前の子供が何人特別支援学級に入るか詳細のデータがない為、推測が入ってしまう。中学校の場合には、小学校1年生から6年生までは各子供さんがどのような特別支援学級にいるかどうか実際の数字が見えている。そういう意味で令和9年度の推計にあたっては、ある程度小学校の数字を拾っていけば大丈夫だというようなこともある。絶対変わらないというようなことはないが小学校よりは確実な推計であるので、3学級で今考えている。</p>
<p>質問者C</p>	<p>小学校で特別支援学級に入っていたら、中学校でもそのまま特別支援学級に入れるか。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>市の傾向からいうと、小学校から中学校に上がるときに、自閉症・情緒障害特別支援学級のお子さんは通常学級に入られる傾向がある。何割とは、今すぐ言えないが、久保・長江中学校区の中でも同様な傾向があるが、今そういったものも想定しながら考えているけれど、中学校は令和9年4月の時には知的学級が1、自情は2というような状況ではないかと思う。小学校は、令和6年4月現在で3つの小学校合わせたら知的</p>

	<p>が2、自情が3である。ですから最大5もあり得る。ただ子供も減っているのです、その割合で行くともしかしたら、知的1・自情3、知的2・自情2もあり得る。難しいのが特別支援学級のお子さんが増えると通常学級が減る。通常学級が今ギリギリ2で予定している学年が1になる可能性がある。いずれにしても通常学級をやはり2学級で12学級を目指すという部分、それから特別支援学級が増える傾向をふまえ、小学校の教室配置、教室数を考えさせていただきたい。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>中学校で、令和9年度は3学級。小学校から上がってくるので6年後まではだいたい分かる、6年後その先どう予想されているか。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>今の小学生が自動的に上がっていったら、実際に小学校から中学校に全員が長江中・久保中に上がっていない。それから特別支援の子も校外に行ったり通常学級に入ったりしている。過去の傾向を見てシミュレーションも実際しているけれども、それでいくと知的1・自情2というのがしばらく続きそうだが、そのうち通常も2学級になってどんどん減っていくので特別支援学級3学級体制が続くと思うが、さらに減っていく可能性も将来的にはあるのではないかと。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>総務等検討部会までにですね、保護者の方のご意見をお伺いするという機会を設けますけれども、もうそんなに後ろがないというのが実情です、ちゃんと説明しておいた方がいいと思う。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>少し今後のスケジュールで設計用務、業者側にたったような説明をする。基本設計は6月末をもって進みたい中で、我々色々なもの調整時間で業者としては最後スピード上げなきゃいけないというようなことで、最低限レイアウト校舎の枠というものをとにかく決めていきたい。そして中の部屋のレイアウトの変更はいいですけれども、例えば、理科室・家庭科室とか大きな設備を伴うものは場所を決めていきたいというふうに考えているところである。特別支援教室をカウンセラー室にするとかは部屋の室材を替えなくていい。実はその決断につきまして、7月19日には決めて進まないで設計用務が遅れ、工事が遅れるというような状況にもつながる。そういうことで我々としても取り急ぎ意見の集約を通して、なるべく調整が取れるようにということで今進めておりますので、ここが最後のキャッチボールとは言いませんが、ある程度大きなことを決めるにあたっては、1つの決断の時期に来ているということもご理解いただいて意見の集約を行っている。</p>

<p>小柳委員長</p>	<p>7月16日、総務等検討部会で了承いただき、7月19日の開校準備委員会でその状況を報告し、議決ということで、もう次のステップに行かないと、多分来年度から校舎建築が進まないというようなスケジュール感だと思いますのでそのあたりはご理解いただければと思う。</p>
<p>安保副委員長</p>	<p>5. 各部会への検討依頼の内容について</p> <p>(1) 総務等検討部会</p> <p>○施設整備について</p> <p>新校舎のレイアウトについては、先ほども事務局からあったが今後、育友会・PTAからの意見の集約をお願いし、また提示した上、次回の開校準備委員会で報告をお願いする。令和7年度から8年度の校舎のレイアウトについては主に学校との連携になると思う。</p> <p>○開校に向けた引っ越し作業等のスケジュールについて</p> <p>夏季休業中の作業もあると思う。計画的に進めてほしい。</p> <p>○校章について</p> <p>今後、デザイン(案)が出来てくると思う。どういうプロセスで決定するかは、教育委員会でも検討する。</p> <p>(2) 生徒指導等検討部会</p> <p>○学校規定品について</p> <p>制服のキュロットタイプについて試作品を出されている。今後も規定品の提案をお願いする。</p> <p>○路線バスを活用した通学支援について</p> <p>7月に久保小学校・長江小学校・土堂小学校の関係の人と小部会を開くということですので、検討と報告をお願いする。</p> <p>○中学校における自転車通学のあり方について</p> <p>学校側と育友会からの提案があったということで、学校に持ち帰っての検討、提案をお願いする。</p> <p>○生徒指導規程等について</p> <p>計画的に準備をお願いする。</p> <p>(3) 教育課程等検討部会</p> <p>○教育課程、教育内容等について</p> <p>準備を進められていることで、また進捗の報告をお願いする。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>6. 情報交換</p> <p>時間が随分経過しているので小学校・中学校・育友会に分かれて、10分程度時間を取りたいと思う。</p>

小柳委員長	<p>7. 第10回開校準備委員会での協議事項等（予定）</p> <p>今は、空欄になっている。メインは、施設整備になると思う。それまでに、部会等でしっかりと話し合っていたきたい。</p>
事務局（宮崎学校経営企画課係長）	<p>（次回の開催日の提案）</p> <p>令和6年7月19日（金）19時から市役所4階大会議室2で行う。</p> <p>その他の報告ですが、閉校記念事業の補助金申請について現在、久保小学校実行委員会と長江小学校実行委員会が補助金の申請をしている。</p>
小柳委員長	<p>その他の実行委員会も補助金の申請をしていただければと思う。</p>
質問者D	<p>直接的な関係のある話ではないが、この場にいらっしゃる方が関係者に当たると思うので発言の権利をください。山波小学校で5月に運動会をした。2週間前ぐらい前に風の強い日がありまして、テントが飛ばされてダメになった。今回閉校される学校さんもあるかと思うんですけども、テントを破棄する話になった場合、処理は学校側なのか育友会側なのかかわからないので、破棄するときはご連絡いただきたい。</p>
小柳委員長	<p>テントだけではなく、その他備品も色々使える物も残ると思うので、情報共有しながら使っていきたいと思う。</p> <p>（ほかに質問なし）</p> <p>以上で閉会する。本日はありがとうございました。</p> <p>（終了 20:42）</p>